



歴史的な主な出来事

日本統治時代、有名な大きなオランウータンがいました。1925年、そのオランウータンはボルネオ島で生まれました。彼は生まれるとすぐに、台北市立動物園へ送られました。そして、戦争が彼の命を奪うまで、台北動物園にいました。オランウータンの標本は標本室で管理していましたが、その薄汚れた外見のために、動物園が新しい場所に引っ越す際に標本は捨てられてしまいました。

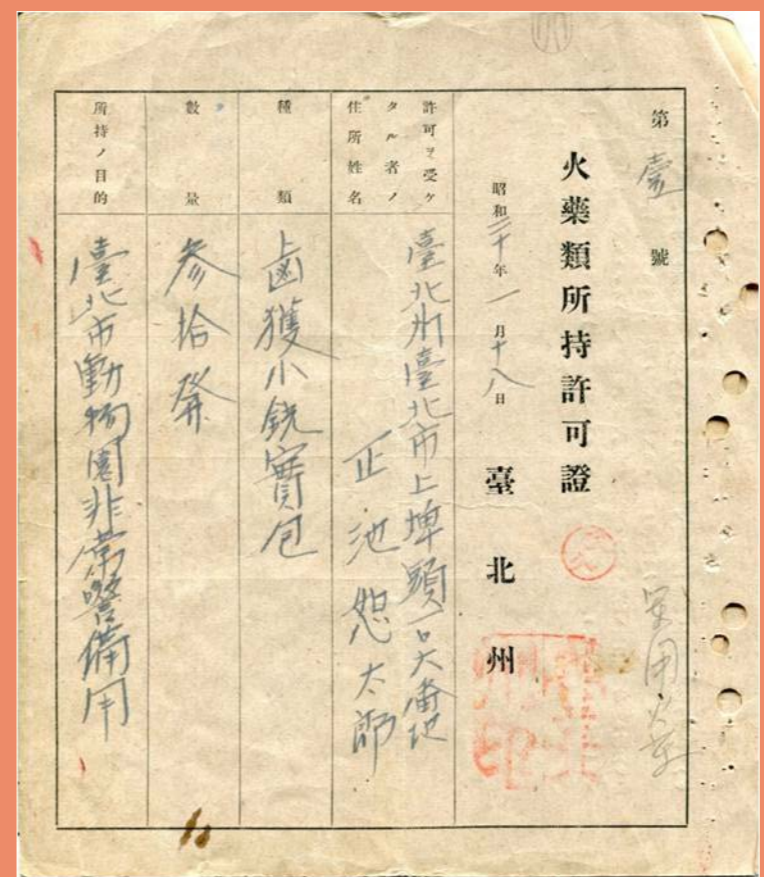


一郎 君

当時の動物園管理

最初のころ、70種 148点の展示動物が飼育され、日曜日には700-800人が来園しました。(その当時の台北の人口は約170万人)
 飼育場は主に鉄製フェンスのケージで、哺乳類、鳥類、そして爬虫類の観覧場所から獣舎側はドイツ様式でした。全飼育員はおよそ20名で、多数の台湾産動物も動物園内で飼育しました。

例 圖	第八日	第七日	第六日	第五日	第四日	第三日	第二日	第一日	日数
基隆	台北	台中	台北	基隆	台北	台中	基隆	台北	基隆
2.0	11.15	11.15	2.0	11.10	2.46	4.20	基隆	台北	基隆
基隆	台北	台中	台北	基隆	台北	台中	基隆	台北	基隆
基隆	台北	台中	台北	基隆	台北	台中	基隆	台北	基隆



1944年、台湾全島が戦争状態になり、度重なる空襲を受けました。それはまた、猛獣にとって悪夢でもありました。猛獣が逃げ出したり、獣舎が崩れて猛獣が人に危害を及ぼさないように、彼らは殺処分されました。

銃許可書